

第4回C o Eサミットにおける岸田総理大臣メッセージ

第4回欧州評議会首脳会議が開催される運びとなりましたことに心からお喜び申し上げます。我が国がオブザーバーとして首脳会議に招待されたことを光栄に思います。

我が国は、人権、民主主義、法の支配といった欧州評議会の掲げる基本的な価値と原則を共有し、アジア地域で唯一オブザーバーとしての地位を有する国として、欧州評議会との協力関係を深めて参りました。

国際秩序の根幹を脅かす暴挙であるロシアによるウクライナ侵略を始め、世界は多くの課題に直面しています。国際社会が大きな変革期を迎える中、欧州評議会は国際社会のルールづくりにおいて重要な役割を担っています。

今回の首脳会議に向け、ロシアのウクライナ侵略により生じた損害を登録する機関が設立されたことを歓迎します。日本としても今後の議論に積極的に参画していきます。

二日後にはG7広島サミットが開催されます。国際社会が、歴史的な転換期にある中で開催されるG7広島サミットでは、力による一方的な現状変更の試みやロシアが行っているような核兵器による威嚇、ましてや、その使用はあってはならないものとして断固として拒否し、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を守り抜くとのG7の強い意志を、世界に示したいと考えています。また、ロシアによるウクライナ侵略が長期化する中、一日も早くロシアの侵略を終わらせるため、引き続きG7そして欧州の同志国が結束して厳しい対露制裁と強力なウクライナ支援を継続していくことを確認し、ウクライナに対する連帯を示したいと思います。